

2015年度決算説明資料

2016年4月27日

川崎重工業株式会社

目次

I . 2015年度連結決算の概要

◇ 2015年度決算実績 サマリー	3
◇ 2015年度決算実績 セグメント別	4
◇ 前期比損益計算書の概要	5
◇ セグメント別決算実績	
船舶海洋	6
車両	7
航空宇宙	8
ガスタービン・機械	9
プラント・環境	10
モーターサイクル&エンジン	11
精密機械	12
◇ 貸借対照表の概要	13
◇ キャッシュ・フローの概要	14

II . 2016年度業績見通し

◇ 連結受注高・売上高・利益見通し	15
◇ セグメント別通期業績見通し	16
◇ セグメント別税前ROIC等の推移	17
◇ 研究開発費・設備投資・期末従業員数	18
◇ <参考資料> ヒストリカル・データ	19
ROICによるランク付けの推移	20

2015年度決算実績 サマリー

(億円)

	2014年度 実績	2015年度		増減		前期比
		1月公表※	実績	前期比	1月公表比	
受注高	17,129	16,700	16,936	▲192	+236	【受注高】 航空宇宙やガスタービン・機械等で増加した一方で、船舶海洋やプラント・環境等での減少等により、全体では減少 【売上高】 航空宇宙や車両を中心に増収 【利益】 航空宇宙やガスタービン・機械等の増益により、営業利益、経常利益は増益となったものの、第3四半期に特別損失としてブラジル造船合弁事業にかかる海外事業関連損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は減益
売上高	14,861	15,700	15,410	+549	▲290	
営業利益	872	910	959	+87	+49	
経常利益	842	890	932	+89	+42	
親会社株主に帰属する 当期純利益※	516	450	460	▲55	+10	
税前ROIC	10.4%	8.7%	9.4%	▲0.9%	+0.7%	
ROE	12.9%	10.3%	10.6%	▲2.3%	+0.3%	

※ 2014年度は「当期純利益」

売上加重 平均レート	ドル (¥/\$)	109.51
	ユーロ (¥/EUR)	139.34

118.99
132.43

(参考) 2015年度決算実績におけるNET外貨売上高 (億外貨)

ドル	ユーロ
20.5	4.0

※ 1月公表の前提レート：117円/\$ 127円/EUR

2015年度決算実績 セグメント別

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2014年度	2015年度	増減	2014年度	2015年度	増減	2014年度	2015年度	増減
船舶海洋	1,792	983	▲808	903	948	+45	26	▲79	▲106
車 両	1,314	1,321	+7	1,215	1,466	+251	60	92	+32
航空宇宙	3,570	4,642	+1,072	3,250	3,518	+267	363	456	+93
ガスタービン・機械	2,357	2,889	+531	2,187	2,364	+176	112	169	+56
プラント・環境	2,034	1,387	▲646	1,211	1,356	+145	65	85	+19
モーターサイクル&エンジン	3,292	3,335	+43	3,292	3,335	+43	149	157	+8
精密機械	1,362	1,331	▲30	1,357	1,331	▲26	109	85	▲23
そ の 他	1,405	1,044	▲361	1,442	1,088	▲354	39	28	▲10
調 整 額*	-	-	-	-	-	-	▲54	▲37	+17
合 計	17,129	16,936	▲192	14,861	15,410	+549	872	959	+87

* 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

前期比損益計算書の概要

【営業損益】 前期比 + 87 億円 (2014年度 872 億円 ⇒ 2015年度 959億円)

・売上高	+	549 億円	(14,861 億円	⇒	15,410 億円)
・売上原価	+	370 億円	(12,166 億円	⇒	12,536 億円)
・販売費および一般管理費	+	92 億円	(1,821 億円	⇒	1,914 億円)
うち給料および手当	+	20 億円	(505 億円	⇒	526 億円)
うち研究開発費	+	20 億円	(416 億円	⇒	436 億円)

【営業外損益】 前期比 + 2 億円 (2014年度 ▲29億円 ⇒ 2015年度 ▲27億円)

・金融収支（受取配当金を含む）	+	0 億円	(▲ 25 億円	⇒	▲ 24 億円)
・持分法による投資利益	▲	33 億円	(62 億円	⇒	28 億円)
・為替差損益	▲	14 億円	(▲ 50 億円	⇒	▲ 65 億円)
・その他	+	48 億円	(▲ 15 億円	⇒	33 億円)

【特別損益】 前期比 ▲ 183 億円 (2014年度 0 億円 2015年度 ▲183 億円)

・事業譲渡益	+	9 億円	(0 億円	⇒	9 億円 ^{※1})
・海外事業関連損失	▲	192 億円	(0 億円	⇒	▲ 192 億円 ^{※2})

※1 連結子会社である株式会社KCMの全株式の譲渡および株式会社KCMJの事業譲渡によるもの

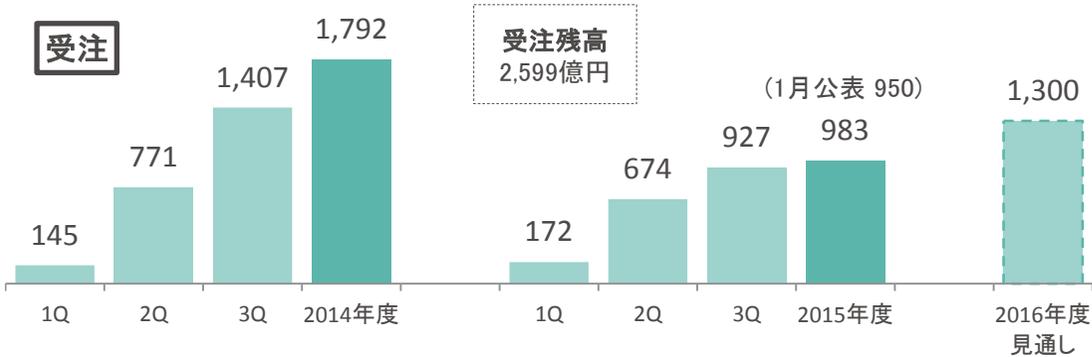
※2 当社が30%出資しているブラジルの造船合弁会社Enseadaに対する売掛債権の回収可能性やたな卸資産の資産性等について、関係する会計基準等に照らし、必要とされる再評価手続きを実施したうえで所要の経理処理を行ったもの

船舶海洋

主要製品：LNG船、LPG船、オフショア船、ばら積み運搬船、潜水艦

(億円/各期の数値は累計)

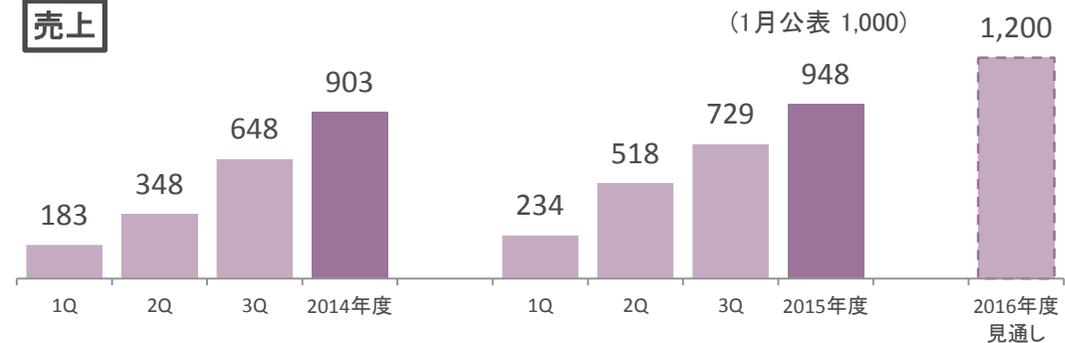
受注



受注残高
2,599億円

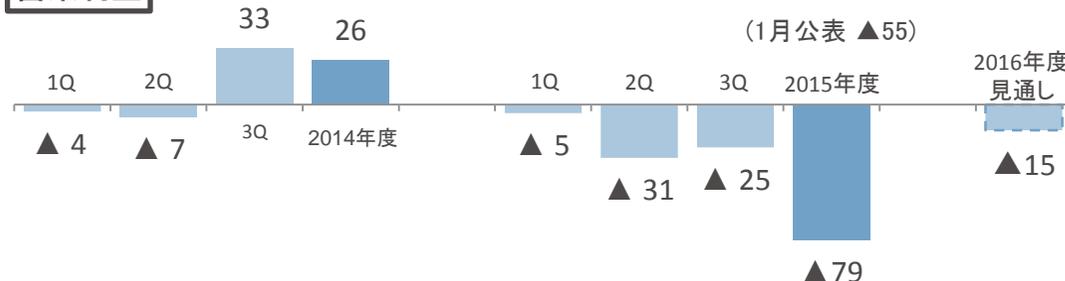
(1月公表 950)

売上



(1月公表 1,000)

営業利益



(1月公表 ▲55)

2015年度実績

(前期比)

受注 防衛省向け潜水艦や深海救難艇等を受注した前期に比べ減少

売上 LPG運搬船の建造量増加等により増収

営業利益 受注工事損失引当金の繰入等により損益悪化

2016年度見通し

(前期比)

受注 防衛省向け潜水艦の受注により増加

売上 ガス船の建造量の増加により増収

営業利益 受注工事損失引当金の繰入があった前期に比べ改善

<新造船の受注・売上隻数>

(隻)

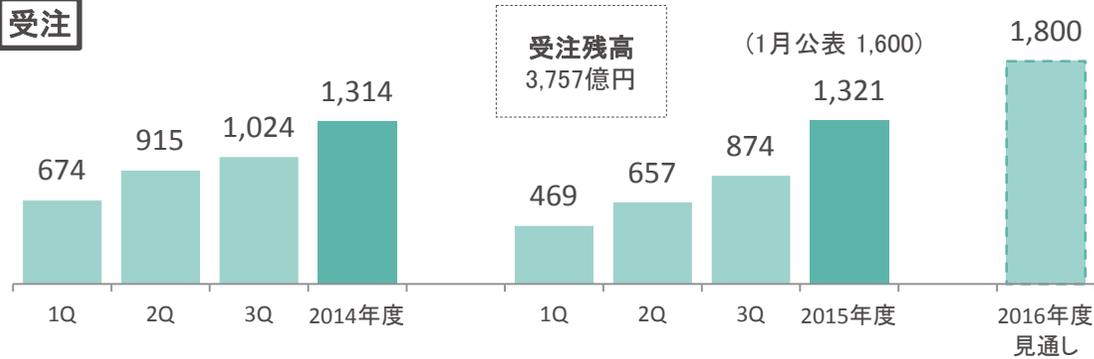
	受注		売上			
	2014年度	2015年度	2014年度		2015年度	
			完工	進行基準	完工	進行基準
LNG船	3	2		4		9
小型LNG船						
LPG船	2	4	1	1	1	4
オフショア船						
ばら積み運搬船		1	2	2	3	1
潜水艦	1		1	1		2
深海救難艇	1					1
合計	7	7	4	8	4	17

	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し
税前ROIC	6.0%	▲38.4%	1.0%

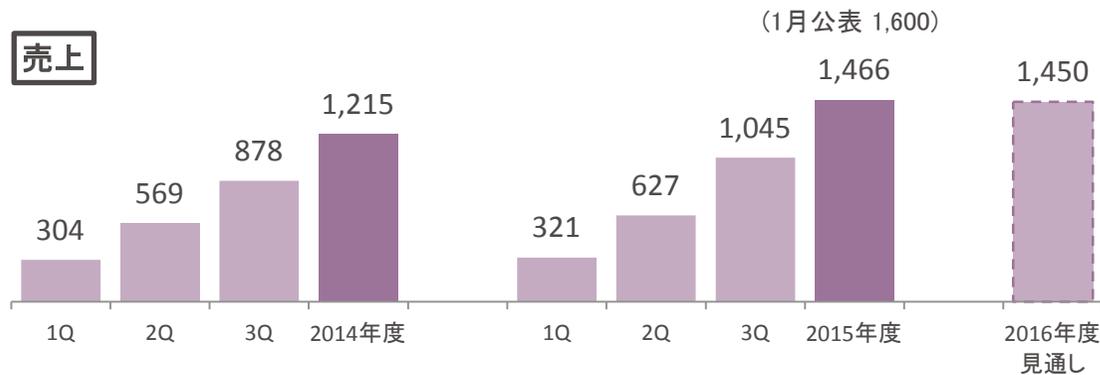
車 両

主要製品： 各種電車(新幹線含む)、機関車、客車、台車、ギガセル(二次電池) (億円/各期の数値は累計)

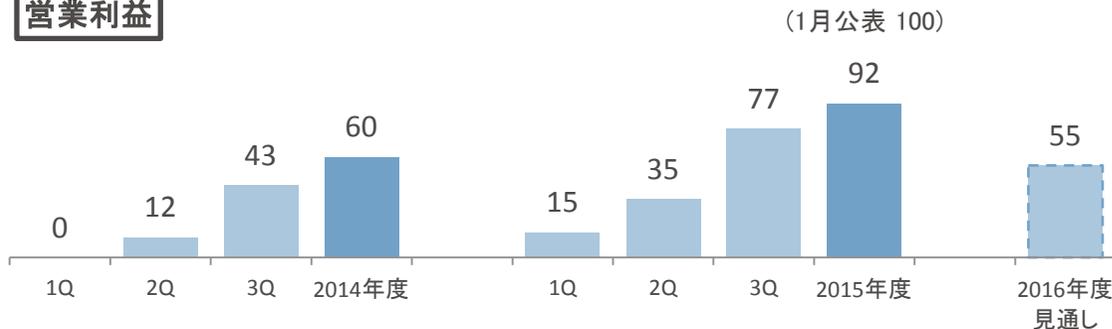
受注



売上



営業利益



2015年度実績

(前期比)

受注 国内向け、海外向けともに大きな変動は無く前期並み

売上 シンガポールや台湾等の海外向け売上が増加したこと等により増収

営業利益 増収等により増益

2016年度見通し

(前期比)

受注 海外案件の増加により増加

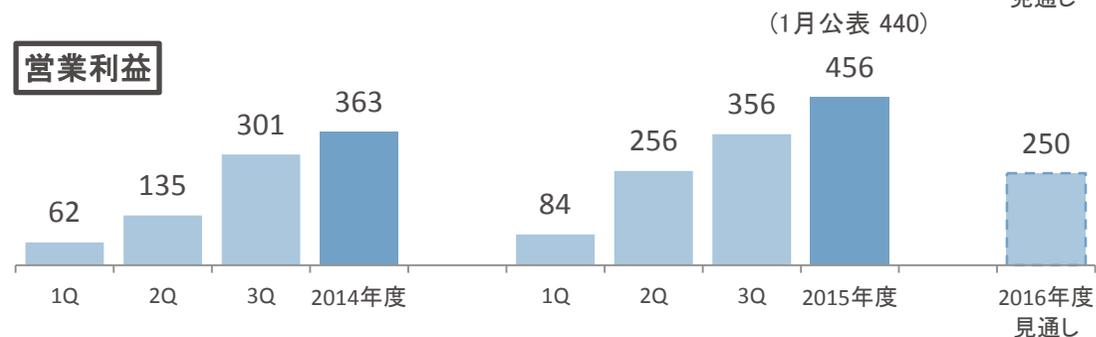
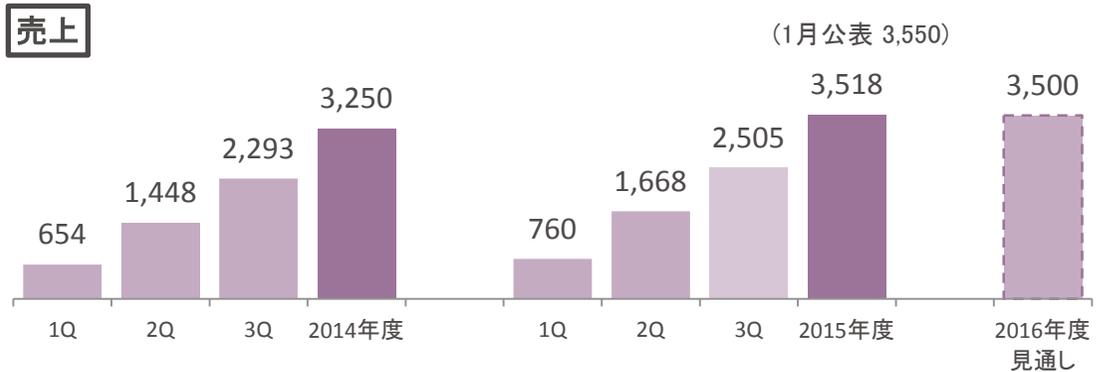
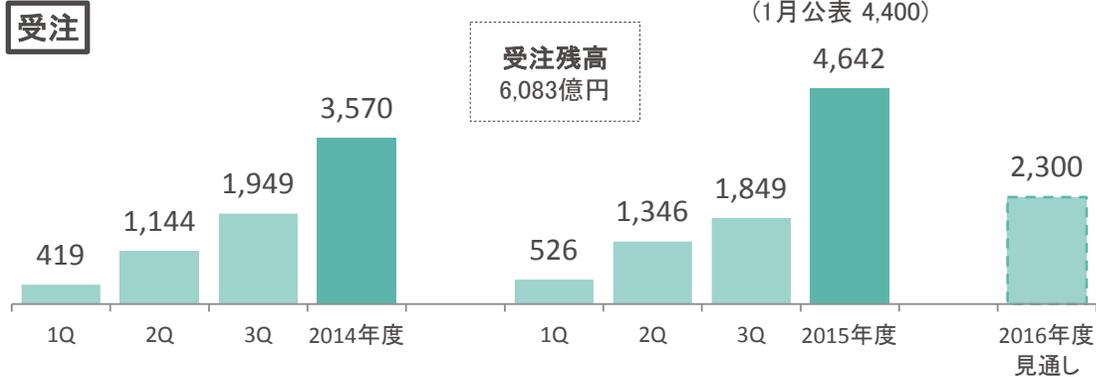
売上 国内向け、海外向けともに大きな変動は無く前期並み

営業利益 収益性低下等により減益

	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し
税前ROIC	8.7%	11.7%	8.0%

航空宇宙

主要製品： 防需航空機、民需航空機分担製造品、民間向けヘリコプター、誘導機器・宇宙関連機器 (億円/各期の数値は累計)



2015年度実績

(前期比)

受注 防衛省向けの増加等により増加

売上 防衛省向けの増加や民間航空機向け分担製造品が高水準を維持したことに加え、円安の影響等により増収

営業利益 増収等により増益

2016年度見通し

(前期比)

受注 防衛省向けの減少等により減少

売上 防衛省向けは増加するものの、民間航空機向け分担製造品の減少や円高の影響により前期並み

営業利益 民間航空機向け分担製造品の収益性低下により減益

< 民需分担製造品の売上機数 > (機)

	2014年度	2015年度
Boeing 777	101	100
Boeing 767	17	19
Boeing 787	122	124
Embraer170/175	86	87
Embraer190/195	25	14

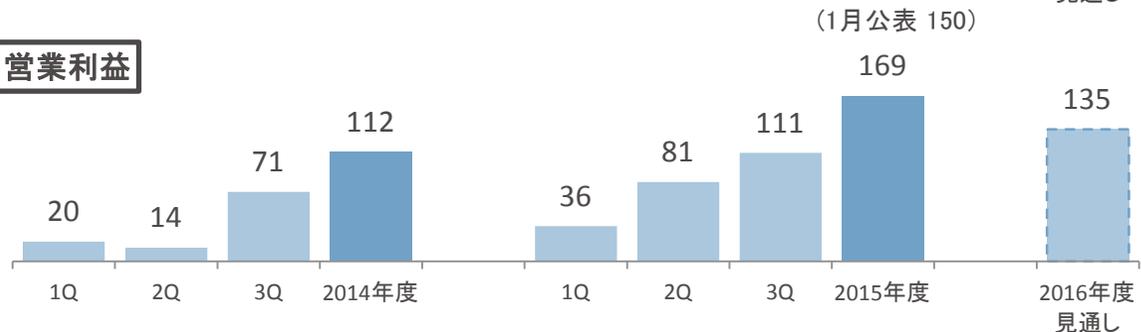
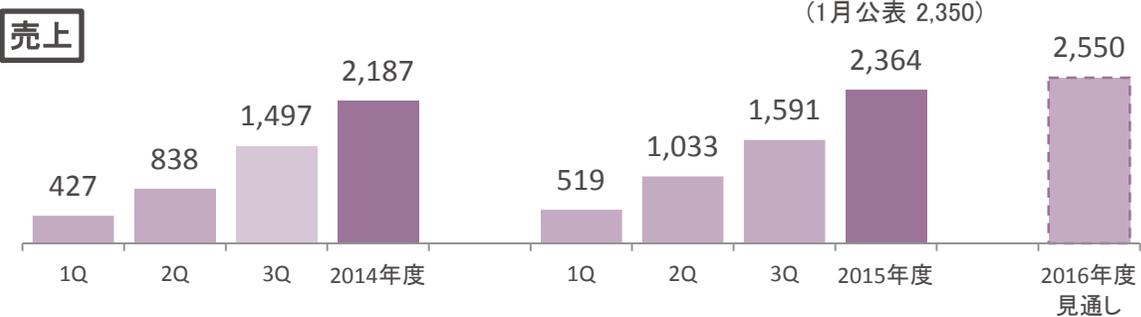
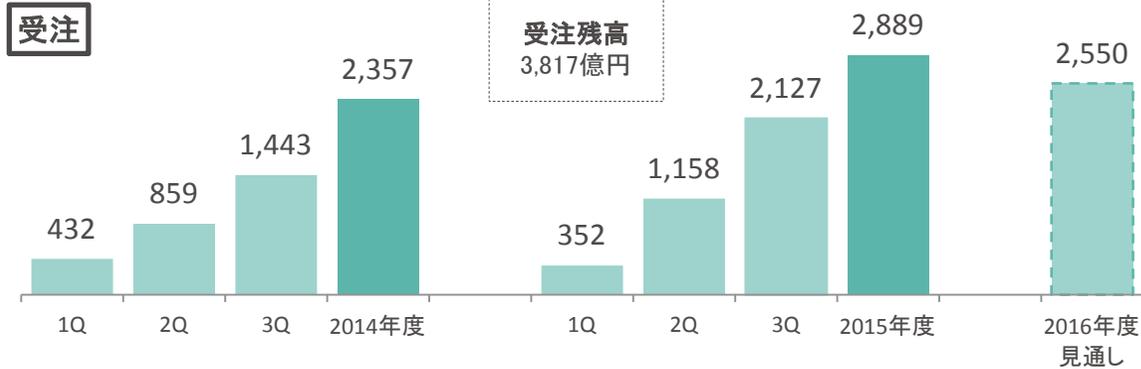
	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し
税前ROIC	35.1%	33.9%	13.5%

ガスタービン・機械

主要製品: 航空機用エンジン、産業用ガスタービン・コージェネレーション、
ガスエンジン、ディーゼル機関、陸用・船用タービン、空力・水力機械

(億円/各期の数値は累計)

(1月公表 2,700)



2015年度実績

(前期比)

受注 航空エンジン分担製造品やガスエンジンの増加等により増加

売上 航空エンジン分担製造品の増加等により増収

営業利益 増収等により増益

2016年度見通し

(前期比)

受注 受注が前期に集中した航空エンジン分担製造品や船用製品の減少等により減少

売上 航空エンジン分担製造品やガスエンジンの増加等により増収

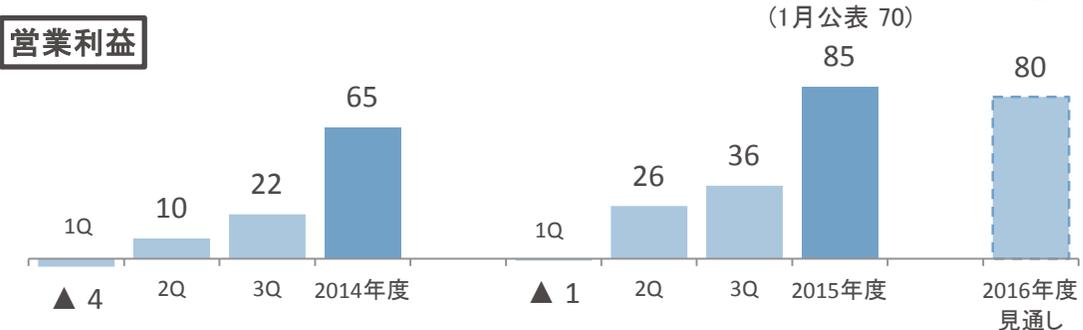
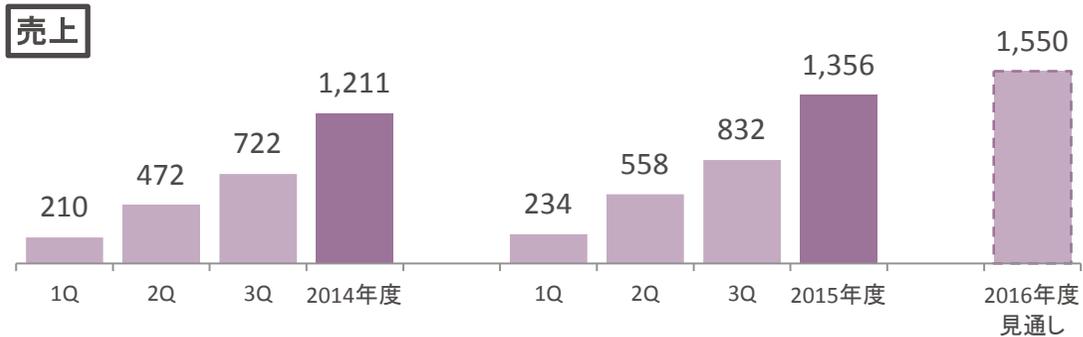
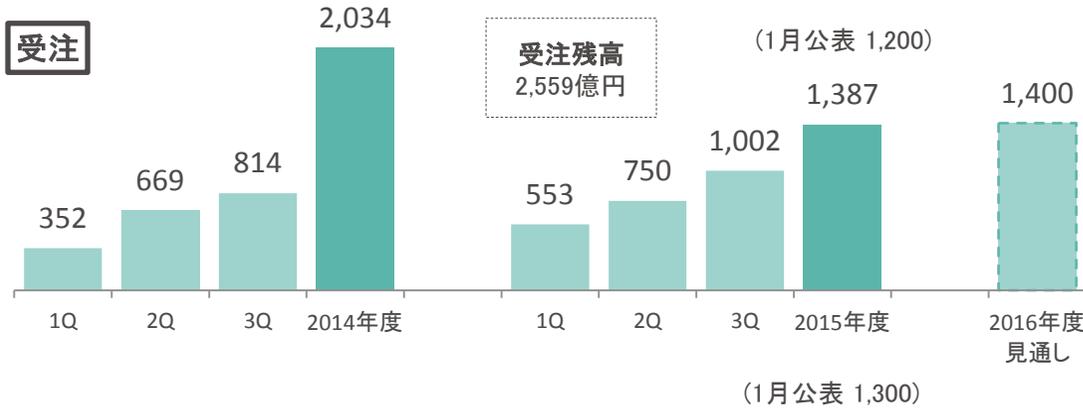
営業利益 増収による増益はあるものの、円高および航空エンジン分担製造品の初度費負担増加等により減益

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 見通し
税前ROIC	5.7%	8.8%	6.3%

プラント・環境

主要製品： 産業プラント(セメント、肥料等)、発電プラント、LNGタンク、
ごみ焼却プラント、トンネル掘削機、破砕機

(億円/各期の数値は累計)



2015年度実績

(前期比)

- 受注** 大口の海外向けプラントを受注した前期に比べ減少
- 売上** 海外向け大型プラントの増加等により増収
- 営業利益** 増収により増益

2016年度見通し

(前期比)

- 受注** 国内向けごみ焼却プラント等の受注により増加
- 売上** 海外向けプラントの増加により増収
- 営業利益** 増収となるものの、工事費の増加による収益性低下等により減益

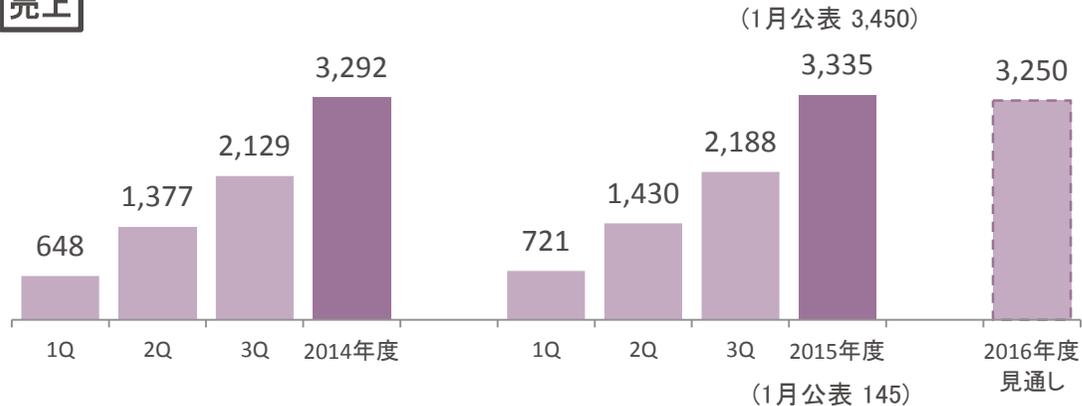
	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し
税前ROIC	14.3%	17.5%	16.3%

モーターサイクル&エンジン

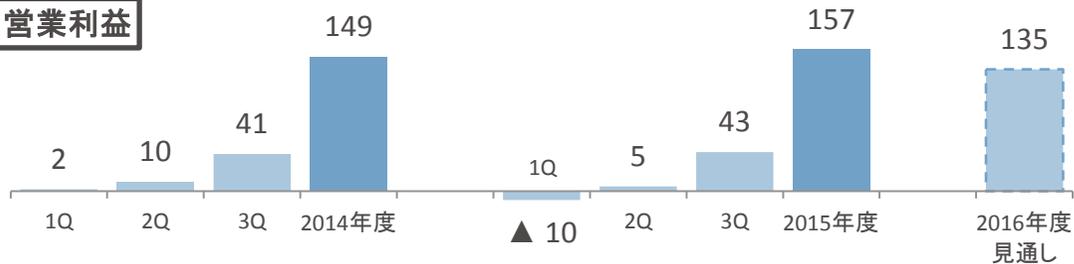
主要製品： 二輪車、多用途四輪車、四輪バギー車(ATV)、
パーソナルウォータークラフト、汎用エンジン

(億円/各期の数値は累計)

売上



営業利益



<コンシューマー向け製品 地域別売上(卸売)台数・金額> (千台、億円)

	2014年度実績		2015年度実績		2016年度見通し	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
国内	15	132	15	132	16	136
北米(カナダ含む)	100(49)	970	105(51)	1,122	113(54)	1,066
欧州	57	501	64	552	64	518
新興国等	409	1,221	340	1,063	319	1,019
合計	581	2,824	524	2,869	512	2,739

注1)二輪車、多用途四輪車、四輪バギー車(ATV)、パーソナルウォータークラフト
(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。

注2)括弧内は二輪車分を示す。(内数)

2015年度実績

(前期比)

売上

インドネシアほか新興国向け二輪車が減少したものの、先進国向け二輪車や四輪車の増加により増収

営業利益

増収等により増益

2016年度見通し

(前期比)

売上

インドネシア向け二輪車の減少および円高の影響により減収

営業利益

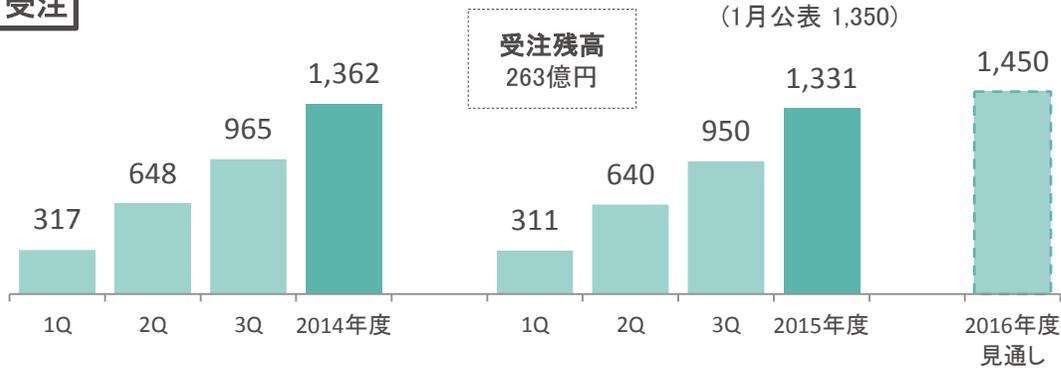
減収により減益

	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し
税前ROIC	7.3%	14.1%	10.2%

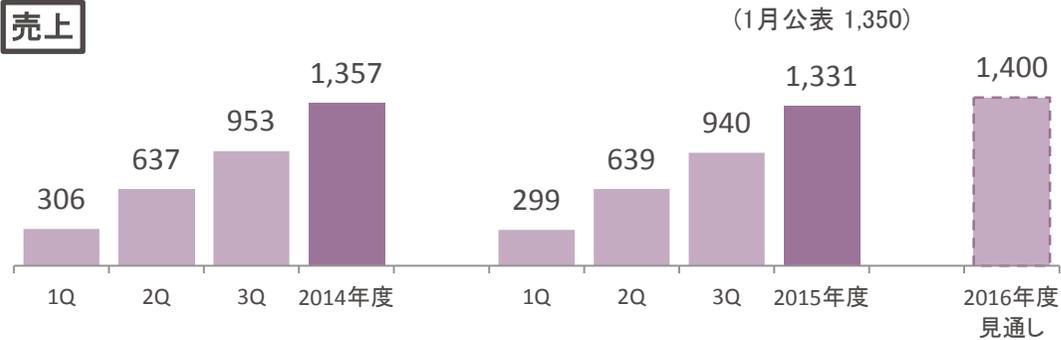
精密機械

主要製品： 建設機械用油圧機器、産業機械用油圧機器・装置 (億円/各期の数値は累計)
 船用舵取機、船用各種甲板機械、産業用ロボット、医薬・医療ロボット

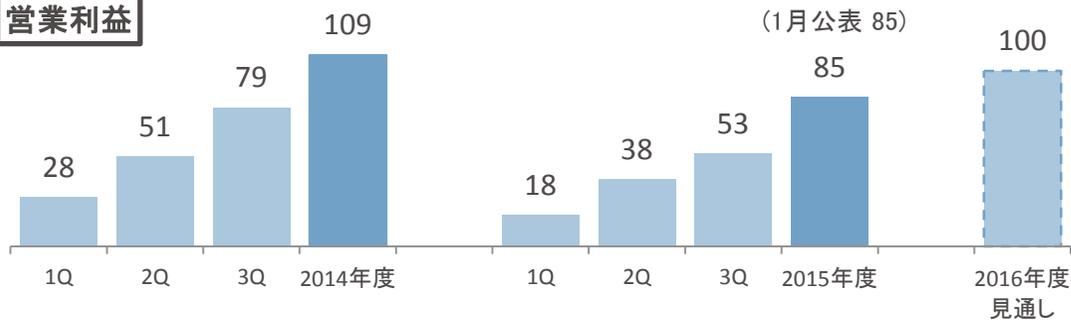
受注



売上



営業利益



2015年度実績

(前期比)

- 受注** 油圧機器の減少等により減少
- 売上** 油圧機器が減少したこと等により減収
- 営業利益** 油圧機器の減収および収益性の低下等により減益

2016年度見通し

(前期比)

- 受注・売上** 各種ロボットの増加により増加
- 営業利益** 増収により増益

	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し
税前ROIC	16.7%	9.5%	10.8%

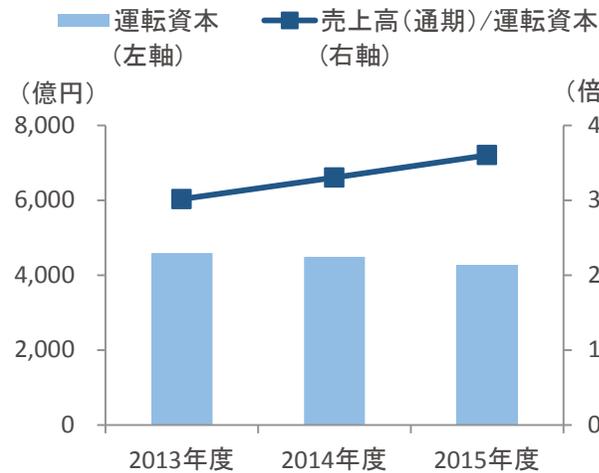
貸借対照表の概要

(億円)

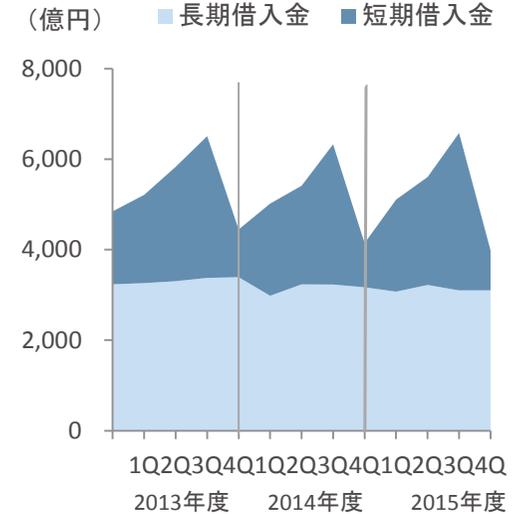
	2014年度末	2015年度末	増減
現預金	516	421	▲94
売掛債権	4,218	3,813	▲405
棚卸資産	4,986	4,929	▲56
有形・無形固定資産	4,369	4,520	+150
その他資産	2,531	2,519	▲11
資産計	16,622	16,204	▲418
買掛債務	3,393	3,217	▲175
借入債務	4,143	3,984	▲159
前受金	1,716	1,704	▲11
その他負債	2,889	2,841	▲48
負債計	12,143	11,748	▲394
株主資本	4,124	4,384	+260
その他純資産	355	72	▲283
純資産計	4,479	4,456	▲23
負債・純資産計	16,622	16,204	▲418

自己資本比率	25.9%	26.6%
NET D/Eレシオ	83.9%	82.5%

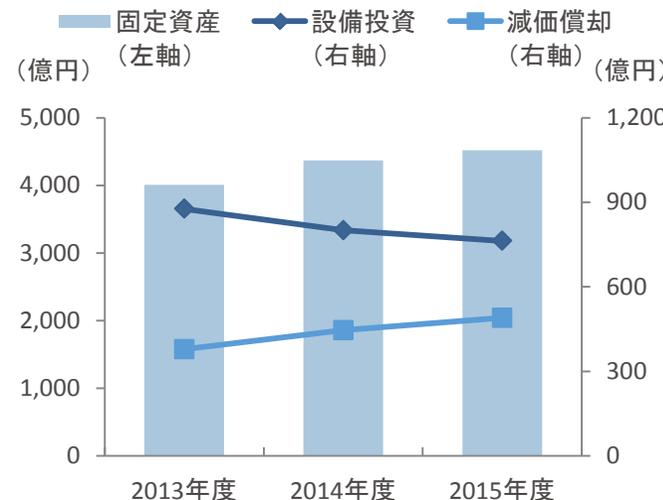
【運転資本の推移】



【有利子負債の推移】



【設備投資等の推移】



【貸借対照表の概況】

当期末の総資産は、設備投資により有形固定資産が増加する一方で、売掛債権の減少等により、前期末に比べ減少。負債は、買掛債務および借入債務の減少等により前期末に比べ減少。純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により増加する一方、為替換算調整勘定の減少等により、前期末並み。

キャッシュ・フローの概要

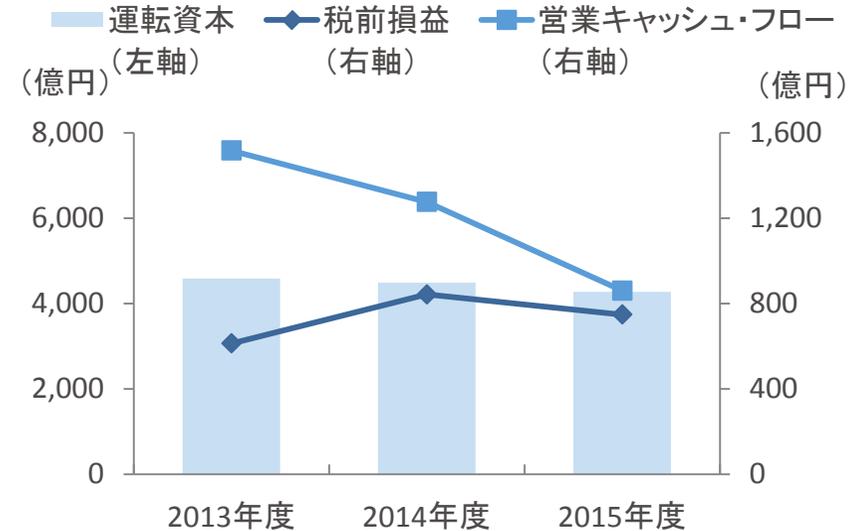
(億円)

	2014年度	2015年度	増減
営業キャッシュ・フロー	1,276	860	▲415
投資キャッシュ・フロー	▲673	▲741	▲67
フリー・キャッシュ・フロー	602	118	▲483
財務キャッシュ・フロー	▲571	▲234	+337

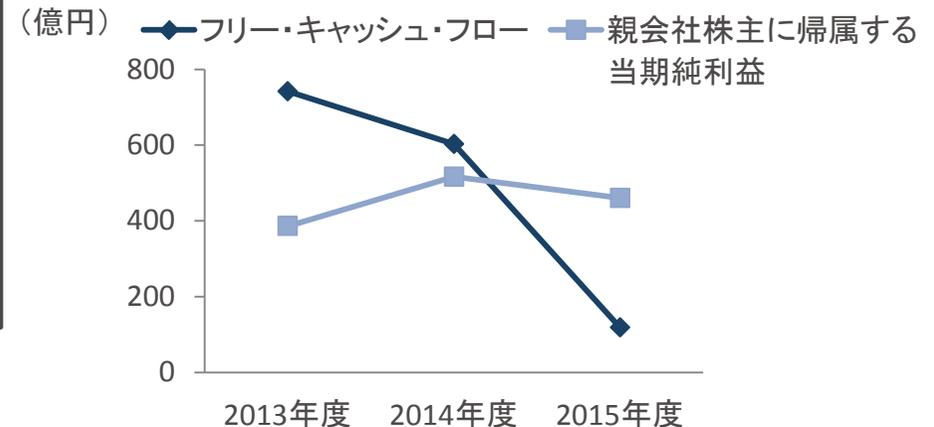
【キャッシュ・フローの概況】

営業キャッシュ・フローは、航空宇宙で前期に入金集中したこと、ブラジル造船合弁会社からの入金滞りしたこと等により前期に比べ減少。
 投資キャッシュ・フローは、当期に設備投資の支払いが増加したことにより、使用した資金は増加。
 この結果、フリー・キャッシュ・フローは前期に比べ減少。

【営業キャッシュ・フロー等の推移】



【フリー・キャッシュ・フローと親会社株主に帰属する当期純利益の推移】



連結受注高・売上高・利益見通し

(億円)

	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減
受注高	16,936	15,000	▲1,936
売上高	15,410	15,700	+290
営業利益	959	700	▲259
経常利益	932	690	▲242
親会社株主に帰属する 当期純利益	460	490	+30
税前ROIC	9.4%	8.3%	▲1.1%
ROE	10.6%	11.0%	+0.4%

前期比

【受注高】

前期に大口案件があった航空宇宙の減少等により全体では減少の見込み

【売上高】

船舶海洋、ガスタービン・機械、プラント・環境等を中心に増収の見込み

【利益】

- 生産性向上等収益改善諸施策を継続していくものの、円高の影響および航空宇宙における民間航空機向け分担製造品の収益性の低下等により営業・経常利益は減益の見込み

- 税制改正による繰延税金資産の取り崩しや、ブラジル造船合併事業にかかる海外事業関連損失が無くなることにより親会社株主に帰属する当期純利益は増益の見込み

実績/前提 レート	ドル (¥/\$)	118.99	110
	ユーロ (¥/EUR)	132.43	125

(参考) 為替影響額

1円の変動による影響額

(億円)

	営業利益	経常利益
ドル	24.6	24.9
ユーロ	1.9	2.3

注) 前提レートは見通し公表時の為替エクスポージャーに対して適用

セグメント別通期業績見通し

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減
船舶海洋	983	1,300	+317	948	1,200	+252	▲79	▲15	+64
車 両	1,321	1,800	+479	1,466	1,450	▲16	92	55	▲37
航空宇宙	4,642	2,300	▲2,343	3,518	3,500	▲18	456	250	▲206
ガスタービン・機械	2,889	2,550	▲339	2,364	2,550	+186	169	135	▲34
プラント・環境	1,387	1,400	+12	1,356	1,550	+194	85	80	▲5
モーターサイクル&エンジン	3,335	3,250	▲85	3,335	3,250	▲85	157	135	▲22
精密機械	1,331	1,450	+119	1,331	1,400	+69	85	100	+15
そ の 他	1,044	950	▲94	1,088	800	▲288	28	40	+12
調 整 額※	-	-	-	-	-	-	▲37	▲80	▲43
合 計	16,936	15,000	▲1,937	15,410	15,700	+290	959	700	▲259

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

セグメント別税前ROIC等の推移

	税前ROIC (税引前利益+支払利息)/投下資本)		
	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減
船舶海洋	▲38.4%	1.0%	+39.4%
車 両	11.7%	8.0%	▲3.7%
航空宇宙	33.9%	13.5%	▲20.4%
ガスタービン・ 機械	8.8%	6.3%	▲2.5%
プラント・環境	17.5%	16.3%	▲1.2%
モーターサイクル& エンジン	14.1%	10.2%	▲3.9%
精密機械	9.5%	10.8%	+1.3%
合 計	9.4%	8.3%	▲1.1%

営業利益率 (営業利益/売上高)			総資産回転率(倍) (売上高/総資産)		
2015年度 実績	2016年度 見通し	増減	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減
▲8.3%	▲1.2%	+7.1%	0.61	0.75	+0.14
6.3%	3.7%	▲2.6%	0.85	0.90	+0.05
12.9%	7.1%	▲5.8%	0.92	0.80	▲0.12
7.1%	5.2%	▲1.9%	0.75	0.70	▲0.05
6.2%	5.1%	▲1.1%	1.12	1.30	+0.18
4.7%	4.1%	▲0.6%	1.36	1.30	▲0.06
6.4%	7.1%	+0.7%	0.93	0.95	+0.02
6.2%	4.4%	▲1.8%	0.95	0.95	0.00

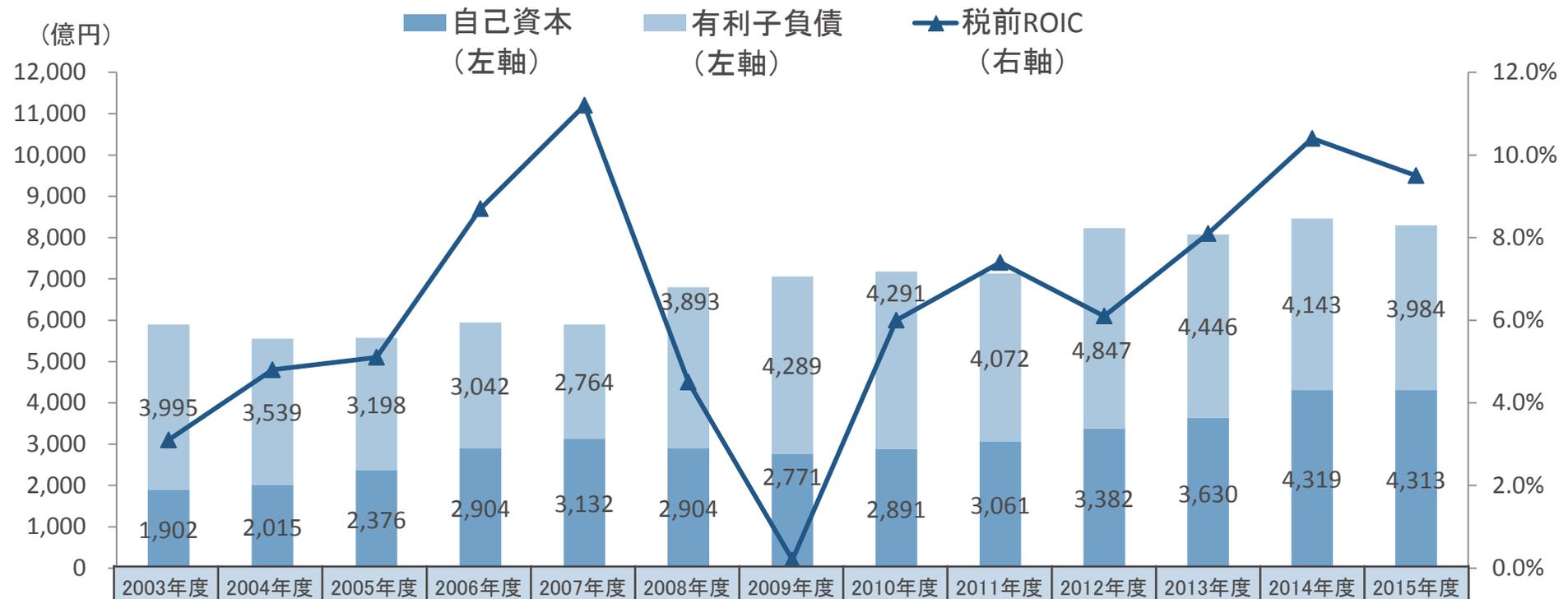
研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

		2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 見通し
研究開発費		416	436	470
設備投資		800	763	980
減価償却費		445	490	560
	国内	26,019	25,897	26,700
	海外	9,452	8,708	9,000
期末従業員数		35,471	34,605	35,700

※ 設備投資額は有形・無形固定資産の新規計上額、減価償却費は有形・無形固定資産の減価償却実施額

ヒストリカル・データ



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
税前ROIC	3.1%	4.8%	5.1%	8.7%	11.2%	4.5%	0.2%	6.0%	7.4%	6.1%	8.1%	10.4%	9.4%
投下資本	5,896	5,553	5,573	5,946	5,896	6,797	7,059	7,182	7,132	8,228	8,076	8,463	8,297
売上高	11,602	12,415	13,224	14,386	15,010	13,385	11,734	12,269	13,037	12,888	13,854	14,861	15,410
営業利益	222	247	417	691	769	287	▲13	426	574	420	723	872	959
経常利益	121	210	308	490	639	387	142	491	636	393	606	842	932
親会社株主に帰属する当期純利益*	63	114	164	297	351	117	▲108	259	233	308	386	516	460

※ 2014年度までは「当期純利益」

為替レート 円/\$	113	108	112	117	115	101	93	86	79	82	99	109	118
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	-----	-----

ROICによるランク付けの推移

ROIC区分		2015年4月時点	2016年4月時点
A	業界トップクラス	11	7
B	企業価値に安定的に貢献	8	7
C	業績変動の低減を図る	4	11
D	投資効率改善を要する	8	4
E	構造改善策の検討・実施	1	2
対象年度		実績: 2013~2014年度 計画: 2015~2017年度	実績: 2014~2015年度 計画: 2016~2018年度
実績/前提レート(円/\$)		2013年度 : 99円 2014年度 : 109円 2015~2017年度 : 113円	2014年度 : 109円 2015年度 : 118円 2016~2018年度 : 110円

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

ご注意

本資料のうち、業務見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。